

結核は今でも重大な感染症です

～結核とは～

結核は結核菌という細菌が体の中に入ることによって起こる病気です。かつて国民病として日本中に蔓延していた結核は、「昔の病気」というイメージをもつ方がいますが、今でも年間10,000人以上の新しい患者が発生し、1,600人以上が命を落としている日本の重大な感染症です。

～感染経路～

結核を発病している人が、せきやくしゃみをする時飛沫(しぶき)に含まれる結核菌が空気中で飛び散り、それを他の人が吸い込むことによって感染します(空気感染)。

～症状～

初期の症状は風邪と似ていますが、せき、たん、発熱(微熱)などの症状が長引くのが特徴です。初期症状は目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかぬうちに進行してしまうことがあります。

結核は、早期発見・早期治療が非常に大切です。

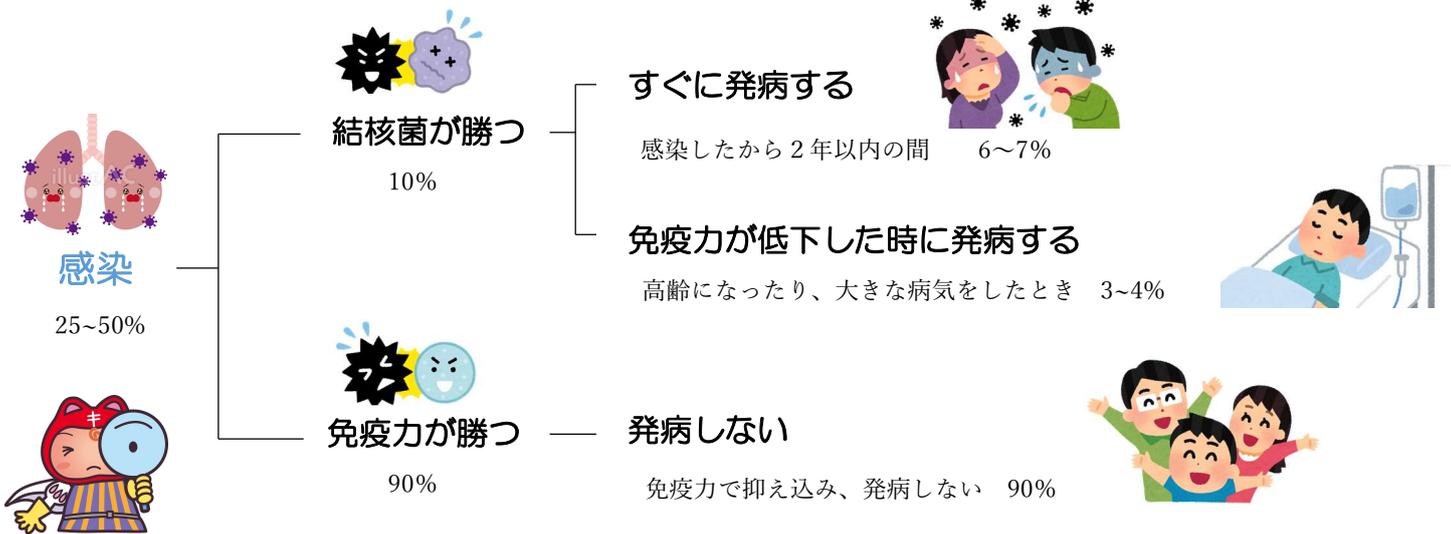
咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

社会医療法人 寿人会 木村病院
感染管理認定看護師 澤田 忍氏

感染管理認定看護師からのアドバイス

感染したら必ず発病するの？

結核は、結核患者の咳などで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを吸い込むことで感染します。結核に感染しても必ず発病するわけではありません。通常は免疫力により結核菌の増殖を抑え込みます。免疫力での結核菌の増殖を抑えきれなくなると結核を発病します。



こんなことに気を付けよう：免疫力UP

- ・バランスの良い食事
- ・適度な運動
- ・禁煙
- ・ストレスを溜めない
- ・睡眠時間の確保
- ・疲労を蓄積させない

こんなことに気を付けよう：医療面

- ・2週間以上の咳が続いたら受診(風邪が長引く)
- ・年に1回胸部エックス線検診を!
- ・乳児の予防接種(BCGは必ず受けよう)

もっと詳しく知りたい方は、次の厚生労働省のHPをご覧ください。

結核 Q&A

検索



9月24日~30日は結核予防週間です!

